



《東京都中学校長会》

平成30年 11月

# 11月 会長だより

会長 小澤 雅人

## 1 挨拶

各地から紅葉の便りも聞こえ、秋本番となってきました。今年のリノ葉は、9月の台風の影響により塩害を被り、海岸に近い地域ではすでに落ち葉となり紅葉にならないようです。自然災害の影響が、このような場面にまであることに驚いています。また、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋と云われており、各校では、さまざまな教育活動に取り組まれていることと思います。今秋の各学校の取り組みが、充実したものになることをお祈りいたします。

さて、先日の全日本中学校長会鳥取(米子)大会では、これからの学校経営に対して考えなくてはならないことが幾つかありました。先ずは、新学習指導要領の実施とともに、今後の社会のあり方を捉えた「Society5.0」における求められる人材像と学びのあり方に関することが、文部科学省説明の中にありました。AI技術の発達に伴い、定型的業務や数値的に可能な業務はAIに代替され、産業構造や働き方が大きく変化することが述べられていました。我が国の抱えている課題としては、AIに関わる人材の不足、少子高齢化の更なる進行、他者との関係の希薄化、自然体験機会の減少が挙げられていました。一方、人間としての強みとして、現実世界を見つめ意味づけができる感性、倫理観、調整力、責任遂行力などを挙げていました。

新学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」を再度捉え直し、今後10年間の教育課程のあり方を模索していくことが重要だと再認識させられました。特に、「深い学び」を捉えていく哲学を学校としてどのように考え、実践していくかが鍵だと考えます。様々な指導のあり方や学びの方法論を説くことだけではなく、「何ができるようになるのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」とともに、「何のために学ぶのか」を、それぞれの地域や子どもたちを見つめ考え出していくことの重要性を痛感しました。

もう一点は、大会期間中に文部科学省から平成29年度「問題行動に関する調査」の発表がありました。いじめ認知件数が、28年度に比較して約9万件増加しています。これが、いじめの定義の見直しによるものとの捉えていても、増加していることを大きな課題としています。今まで以上にいじめ対応を徹底することの重要性を心に刻むものでした。また、不登校児童生徒の増加傾向についての説明もありました。不登校要因の多様化とともに、学校以外の関係機関との連携や学校外の教育機関とのおり方も、これからの不登校児童生徒への支援には重要であることも再認識させられました。

様々な課題が山積する中、新たな課題が見出されていく現状があります。今一度、自校の諸活動を足元から見つめ直すとともに、子供たちの未来である20年、30年先の世界を考えていくことが学校経営ビジョンに繋がる基と考えます。我々校長同士も、大いに語り合う秋となればと思います。

## 2 当面の課題

### (1) 東京都中学校長会研究大会への出席、対応のお願い

来る11月22日(木)午後2時から、なかのZERO・大ホールを会場に、今年度の東京

都中学校長会研究大会が開催されます。今年度の研究部の研究発表のテーマは「教育課程及び学校経営の実施・改善における課題と対応」です。また、生徒指導部は「生徒指導の現状と課題」のテーマで発表します。一人でも多くの校長先生方が出席してくださるようよろしくお願いいたします。

研究発表してくださる研究部の皆様、調査結果の報告をしてくださる生徒指導部の皆様、そして、全体の運営を担当してくださる総務部の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

## (2) 本会の活動の評価・検討

多くの学校において、学校評価や分掌評価を行っていると思います。本会の一年間の様々な活動に関しても、予算規模や活動内容等について自己評価をしていくことが重要と考えています。今後、学校数の減少等も想定されることから、適正な規模の活動のあり方を考えていくことが重要です。代表者会・代表者連絡会において評価・検討を行っていく考えです。

## 3 連絡・報告事

### (1) 第69回全日本中学校長会研究協議会鳥取(米子)大会

10月25日(木)、26日(金)に、第69回全日本中学校長会研究協議会鳥取(米子)大会が、米子市の米子コンベンションセンターをメイン会場として、全国で一番中学校数の少ない鳥取県の公立中学校58名の校長会によって執り行われました。昨年度、70年記念大会を東京で開催し、東京都中学校長会が600名を超える会員で執り行ったことが、大会中に昨日のここのように思い出されました。今年度は、東京から81名の校長先生方に参加いただきました。来年度は、群馬(前橋)大会となり、関東甲信越地区中学校長会研究協議会も兼ねて行われます。

### (2) 第75回大都市中学校長会連絡協議会大阪大会

11月14日(木)、15日(金)には、第75回大都市中学校長会連絡協議会大阪大会が、シェラトン都ホテル大阪を会場に開催されます。この協議会は、毎年、全国に20ある政令指定都市と東京都中学校会の代表が参加して行われています。学校経営上の諸問題に関する内容、教育指導上の諸問題に関する内容、大都市特有の諸問題に関する内容の3つの分科会に分かれ、各都市の校長先生の発表と協議が行われます。東京都からは、新宿区立落合中学校の 岩永 章校長に「新しい時代に求められる資質・能力の向上を目指した指導の現状と課題」について発表していただきます。

### (3) 第61回東京都教職員物故者追悼式

10月15日(月)に、府中市の多磨霊園内にある東京都教職員慰霊塔前で行われた第61回東京都教職員物故者追悼式に参列しました。この慰霊塔は、元東京市小学校教員会が、昭和2年から建設の準備を始め、昭和15年秋に竣工しています。そして、同年12月に、第1回の追悼式が執り行われ、以来今日に至るまで34,035人に及ぶ多くの教職関係者を追悼し、そのご功労を称え、ご尊名をお納めしてきました。この日は、平成29年4月から平成30年3月までに亡くなられた772人のご尊名を新たにお納めし、ご遺族の方々とともに追悼してきました。

### (4) 平成31年度の予定

事務局から、平成31年度の東京都中学校長会の年間行事予定(第1案)が10月の代表者会・代表者連絡会で示されました。来年度の定期総会は4月25日(木)と設定されています。この日程については、会場の関係で決定と考えていただいても結構です。ぜひ、次年度の学校行事等に配慮いただき、全会員が出席できるようご協力ください。